

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年																	2020年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	9	12	18	15
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	9	9	4	7
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2	1	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	4	2	0	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1	2	5	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5	3	2	3

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第5週(1月27日~2月2日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	1	1		2	1	1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3	1				2		
四類	1	E型肝炎	1							1
五類全数	19	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1							1
		カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1					
		急性脳炎	1		1					
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	7				1	4	1	1
百日咳	5			1			3	1		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

令和2年第5週(1月27日～2月2日)

1. インフルエンザ

定点当たり13.3人の報告があり、前週と比べてやや減少しましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は17件報告されています。

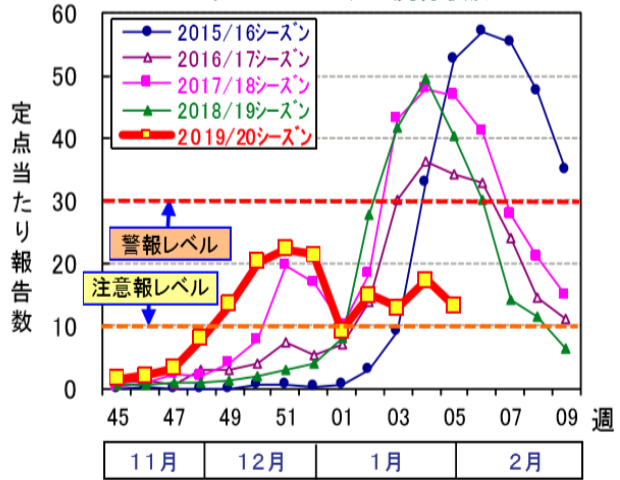
インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるため注意が必要です。

引き続き、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持、人混みへの外出は避けるなどの対策を心がけましょう。

2. 梅毒

4件の報告があり、今年の累計は10件となりました。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
												増減	微増減									
フィリ	インフルエンザ	493	13.32	41.46	◇	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.42		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
小児科	咽頭結膜熱	13	0.54	0.18	◇	眼科	RSウイルス感染症	10	0.42	0.38		増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	2.54	2.74	▲		急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減								
	感染性胃腸炎	179	7.46	6.49	◇		流行性角結膜炎	4	0.50	0.38		横ばい	↔	ほとんど増減なし								
	水痘	4	0.17	0.37	▼	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。										
	手足口病	3	0.13	0.18	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.06		<table border="1"> <tr><td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td><td>37</td></tr> <tr><td>小児科定点数</td><td>24</td></tr> <tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr> <tr><td>基幹定点数</td><td>7</td></tr> </table>			インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	8																				
	基幹定点数	7																				
	伝染性紅斑	12	0.50	0.32	◇		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17		(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)										
突発性発しん	2	0.08	0.24	◇	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-														
ヘルパンギーナ	-	-	0.03	◇	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.31														

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	8	男性(20歳代)、女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	3	男性(30歳代)・O157、女性(30歳代)・O157
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(40歳代)・感染者
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	女性(90歳代)
5	梅毒	4	10	男性(20歳代)・1人、女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・2人
5	百日咳	3	7	女性(10歳未満)、女性(10歳代)、男性(60歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。